



都立 梅ヶ丘病院

ぜったいに残してほしい

3万名こえる署名を都議会に提出

石原都政は、02年の母子保健院廃止につづいて、09年に都立梅ヶ丘病院を廃止しようとしています。子ども病院をなくすなど絶対に許せません。

梅ヶ丘病院は、幼児から青年期までのお子さんの発達の遅れ、不登校、摂食障害など心の病気への専門病院として歩んできました。7,500坪の敷地には病棟が点在し、木々のみどりや季節の花にかこまれ、子どもたち自身の回復する気持ちを育くみ、養護学校分室もある育ちの場です。

「存続を求める家族と都民の会」は、10月3日都議会に「存続は都民の切実な声」と3万3,000名の署名を提出しました。寄せられたアンケートには、『子ども専



開院後63年、福祉のまち梅ヶ丘で子どもたちの医療にがんばる梅ヶ丘病院

用の梅ヶ丘病院に入院できて感謝しています。なくなれば目の前がまっくらになります』『最近の政治は、障害の人に厳しすぎます。ぜったいに残してほしい』と語るお母さんの声。この願いの請願署名に、私は紹介議員として名前を書きました。小児、産科の医療の危機が叫ばれている時だからこそ、都議会が梅ヶ丘病院の存続のためにがんばる時ではないでしょうか。



後樂園遊園地のコ-スタ-



井の頭自然文化園のスポーツランド

多摩テックの乗り物の車軸に亀裂が

遊園地の遊具

安全管理もとめ文書質問書を提出

今、全国の遊園地で事故が相次いでいます。私の調査で、東京でも日野市の「多摩テック」と、台東区の「浅草花やしき」のコ-スター、でんでん虫、ガリオンの車軸に亀裂が発見されました。重大事故につながりかねません。

調査によると、都がサマー

ランド以外の遊園地からは定期点検報告を受けていない、検査資格者の講習もない、コ-スターなど以外の乗り物には定期点検の報告義務がないことなどが判明しました。さっそく都議会で文書質問書を提出し、都の姿勢を質しました。安全管理はいま急務です。